

「エピゲノム解析を主体とする多層的オミックス解析により、婦人科腫瘍の本態解明とバイオマーカー候補・創薬標的候補の同定を目指す研究」へのご協力をお願い

研究責任者	慶應義塾大学医学教室 金井弥栄 電話番号 03-3353-1211 内線 62677
実務責任者	慶應義塾大学医学教室 金井弥栄 電話番号 03-3353-1211 内線 62677

当教室では、慶應義塾大学病院産婦人科におかかりになり、「ヒト試料の収集・分譲と臨床情報を利用した研究に関するご協力をお願い」に関して説明を受け、Keio Women's Health Biobank に検体を収納することに同意された子宮体がん等の婦人科腫瘍の患者さんの検体を使わせていただき、婦人科腫瘍がなぜ起こるのか、どのようにしたら確実に診断し治療できるのか、明らかにする研究を行っています。Keio Women's Health Biobank には、患者さんご自身の治療のために手術等が行われ、患者さんご自身の診療の一環である病理診断を行った後の、残った組織を収納させていただいています。医学部倫理委員会の承認ならびに医学部長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

「ヒト試料の収集・分譲と臨床情報を利用した研究に関するご協力をお願い」に関して説明を受け、Keio Women's Health Biobank に検体が収納された方

2 研究課題名

承認番号 20160058

研究課題名 エピゲノム解析を主体とする多層的オミックス解析により、婦人科腫瘍の本態解明とバイオマーカー候補・創薬標的候補の同定を目指す研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 病理学教室・産婦人科学教室

4 本研究の意義、目的、方法

子宮体がん等の婦人科腫瘍は、遺伝情報が TCGA という4文字の暗号文で書き込まれている“遺伝子”に傷がついたり、遺伝子の修飾（メチル基などの飾りのつき方）に変化が起こったり、遺伝子からつくられるタンパク質などの量が変わってしまうことで起こると考えられています。このよ

うな腫瘍ができるもとなる変化のことを、“ゲノム異常”“エピゲノム異常”などと言い、まとめて“オミックス異常”などともいいます。この研究では Keio Women’s Health Biobank の検体を使わせていただいて、この“オミックス異常”を調べることで、どうして病気が起こったかの理解を進め、病気を間違いなく診断できるようにしたり、病気の治療方法をより良くすることを目指すものです。

5 協力をお願いする内容

Keio Women’s Health Biobank に収納された検体を研究に使わせていただきたくお願い致します。

6 本研究の実施期間 倫理委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で使わせていただく試料と情報から、患者さん個人が特定できるような情報（氏名・住所など）をすべて削除して匿名化し、研究室では研究者自身がどなたのものか一切わからない形で使用します。このため、研究室から患者さんのプライバシーが漏れてしまうことはありません。匿名化のための対応表は、研究に直接参加しない個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理します。研究終了後は、国の指針で決められた一定期間、念のため試料と情報を研究代表者が厳重に管理して保管したあと、患者さん個人が特定できないようにして廃棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部病理学教室

住 所:〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話:03-3353-1211 (内線 62677) 担当者氏名: 金井弥栄 (かない やえ)